

I 病院報告の概況

1 在院患者数

平成 26 年の年間の在院患者延数は 4,784,112 人（前年 4,833,879 人）で、新入院患者延数は 108,067 人（同 107,305 人）、退院患者延数は 108,238 人（同 107,417 人）である。1 日平均に換算して在院患者数を見ると 13,107.2 人（同 13,243.5 人）で、前年に比べ 136.3 人減少している。

一日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では 10,634.3 人（総数の 81.1%）で、前年の 10,767.3 人に比べ 133.0 人減少し、精神科病院では 2,472.9 人（同 18.9%）で前年の 2,476.2 人に比べ 3.3 人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では 5,226.0 人（総数の 39.9%）で、前年の 5,287.8 人に比べ 61.8 人減少し、精神科病床では 3,860.4 人（同 29.5%）で、前年の 3,911.8 人に比べ 51.4 人減少している。また、結核病床では、22.7 人（同 0.2%）で前年の 25.3 人に比べ 2.6 人減少している。

なお、療養病床では 3,998.1 人（総数の 30.5%）で、前年の 4,018.6 人に比べ 20.5 人減少している。

2 外来患者数

平成 26 年の年間の外来患者延数は 3,956,147 人（前年 4,003,414 人）である。1 日平均に換算すると患者数は 10,838.8 人（同 10,968.3 人）で、前年に比べ 129.5 人減少している。

一日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では 10,137.5 人（総数の 93.5%）で、前年の 10,276.3 人に比べ 138.8 人減少し、精神科病院では 701.3 人（同 6.5%）で前年の 692.0 人に比べ 9.3 人増加している。

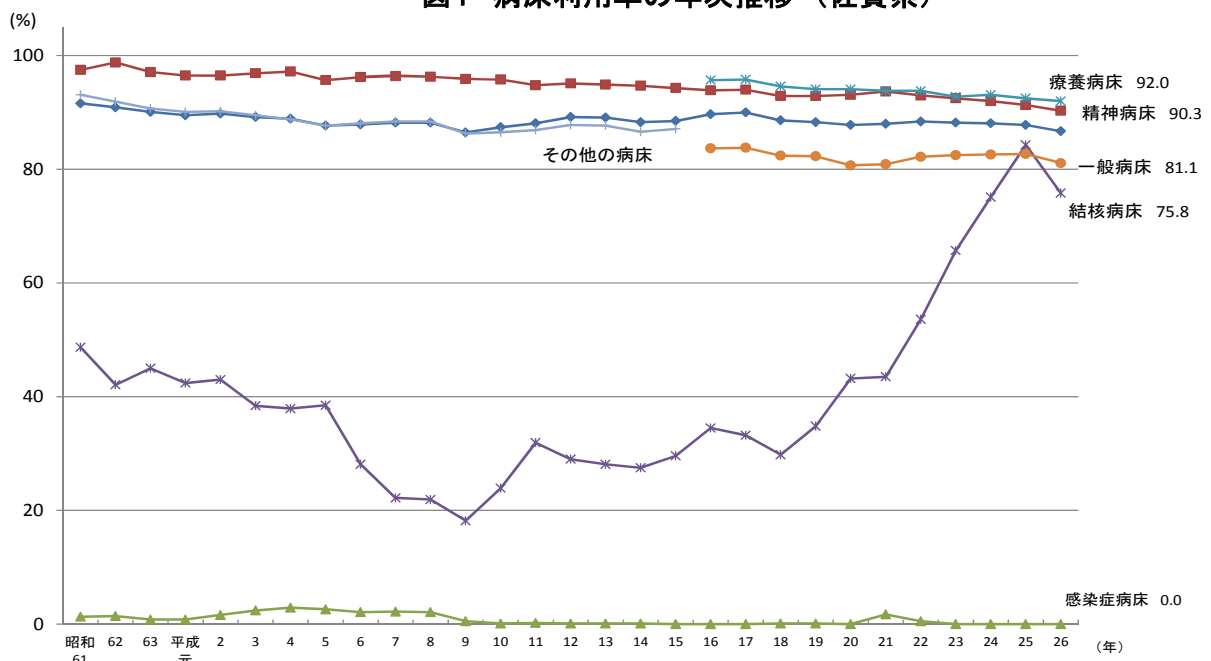
3 病床利用率

全病床における病床利用率は 86.7%（前年 87.8%）で、前年に比べ 1.1 ポイント減少している。

病床の種類別にみると、療養病床における病床利用率が 92.0%（同 92.5%）で最も高く、次いで精神科病床が 90.3%（同 91.3%）となっている。

保健所別では、杵藤保健所が 90.5%と高く、佐賀中部保健所が 84.0%と低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移（佐賀県）



(注) その他の病床等は、平成16年から療養病床と一般病床に分けて表示している。